



2010年4月23日（金）
株式会社ボーネルンド

～パパと育児の意識調査～
“「こどもの日」の意味 深く考えたことない” 父親 53%
 本来は「こどもの幸福をはかり、母に感謝する日」

子どもの健全な成長に寄与することを目的に教育玩具の輸入・開発・販売を行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）では、4月上旬に0歳から6歳のお子様を持つ全国の既婚男性400名を対象に、“乳幼児を持つ父親の育児や「こどもの日」に関する意識”に関するインターネット調査を実施しました。

当社は、「こどもの日」の本来の定義「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」に基づいて「こどもの日」を子どもの成長について全国民が考える日とすることを提案。子どもの健全な育成に関心を持つ社会にしていくための活動の一環として、6月からの改正育児・介護休業法施行に向け、全国の父親に「こどもの日に対する意識」「育児で不安なこと」「子どもができて変わったこと」「イクメン”に対する意識」「育児休暇に対する意識」といった質問をしました。

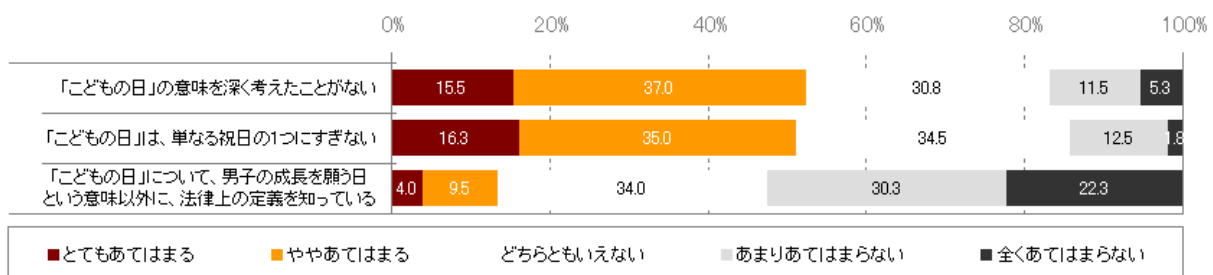
【 調査概要 】

調査方法	インターネット調査
調査地域	全国
調査対象	0歳から6歳のお子様を持つ既婚男性
有効回答数	合計400サンプル
調査時期	2010年4月上旬
調査機関	インターネット調査会社

【 調査結果 】

～ 「こどもの日」の意味を深く考えたことないパパ、53%?! ～

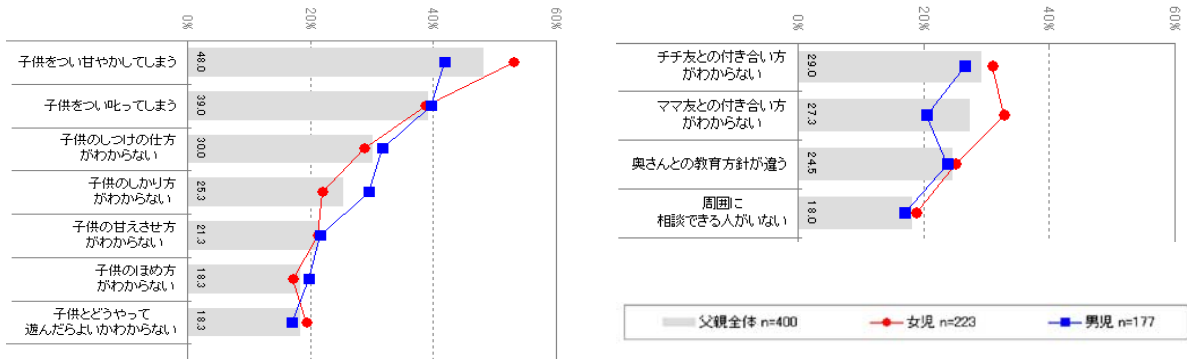
Q1. 「こどもの日」に関するあなたの考えとして、以下のことはどのくらいあてはまりますか。



「こどもの日」に対する父親の思いとしては、「意味を深く考えたことがない」53%、「単なる祝日の1つ」51%、というのが本音といえます。国民の祝日に関する法律では、「こどもの日」の定義を「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」日と定めているもののあまり浸透しておらず、単にGWのうちの1日と認識されているようです。

～ 女兒やママ友への接し方に悩み、子どもの意思理解に不安 35% ～

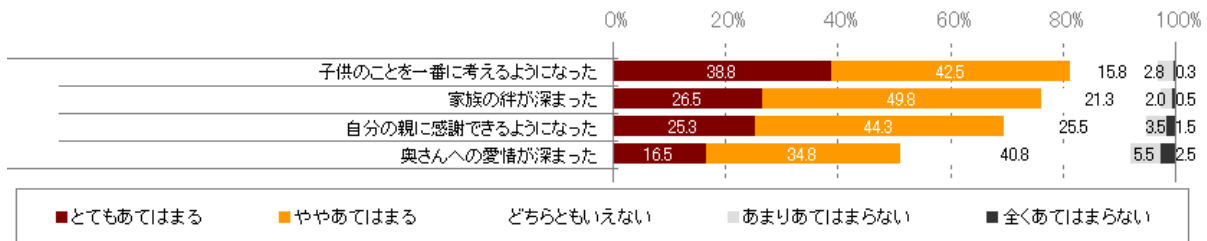
Q2. あなたのお子様や育児に関する事柄として、以下のことはどのくらいあてはまりますか。



男性ならではの傾向として、女兒を持つ父親が子供を甘やかしてしまう様子や、ママ友との付き合い方に苦悩している様子が、男の子の父親よりも顕著に見て取れます。また、子どもとの接し方に関する意識としては、「周囲に相談できる人がいない」という父親は18%とわずかであるにも関わらず、「子どもの意思を自分がよく理解できているか不安」35%、「自分の育児が正しい方法なのかどうか不安」35%など、育児への不安を感じている父親はやや多く、周りにいる相談相手が大きな安心感を与えているとは言いがたい状況が見受けられます。

～ 子どものことを一番に 81%、奥さんへの愛情深まった 51% ～

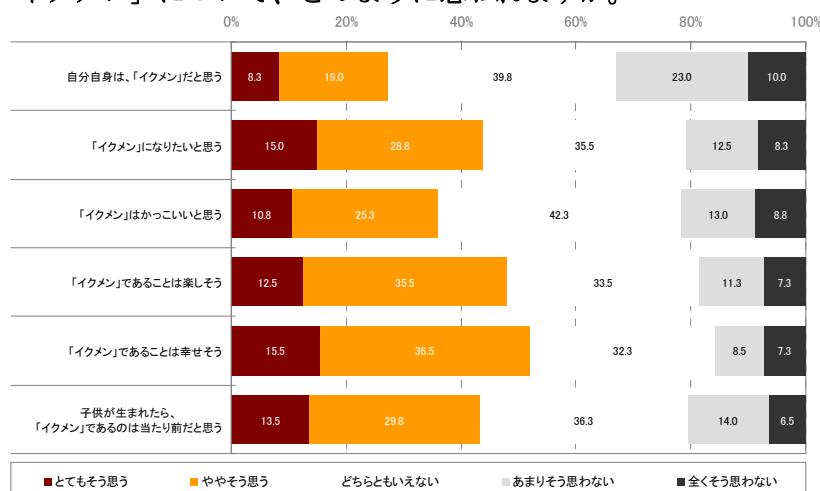
Q3. あなたが育児をし始めて、お子様や育児に関する気持ちや行動はどのように変わりましたか。



家族への意識変化を見ると、「子どものことを一番に考えるようになった」81%、「自分の親に感謝できるようになった」70%となっており、育児をし始めてから家族に対する意識が変わっていることがわかります。しかし、それに対して「奥さんへの愛情が深まった」という意識変化は他とくらべて低めの51%であり、子どもや家族全体への意識が先立ち、妻個人への愛情は次点になっている様子も伺えます。

～ “イクメン” になりたい 44%、「幸せそう」 52% ～

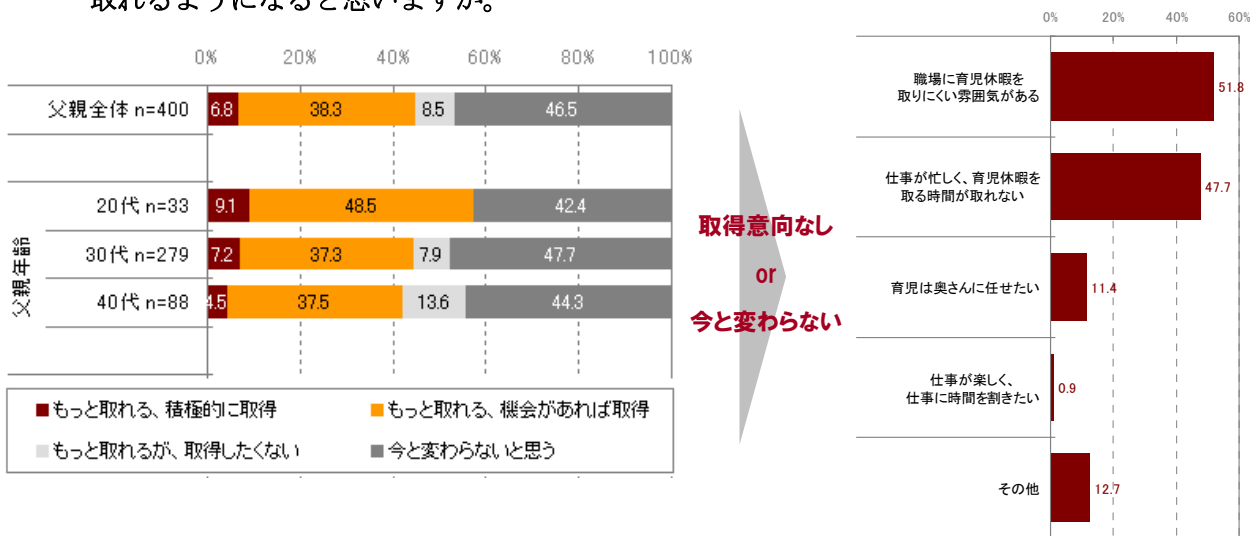
Q4. あなたは「イクメン」について、どのように思われますか。



「育児を楽しむかっこいい父親」という意味の造語“イクメン”に対する認識としては、自分自身を“イクメン”と思う割合は27%と低いものの、「イクメンになりたい」という気持ちは44%と高めです。ただし、イクメンに対し「かっこいい」36%という認識は薄く、それよりは「楽しそう」48%、「幸せそう」52%、という情緒的なイメージのほうが強い結果となりました。

～ 改正育児・介護休業法で50%近くの父親が今後育休を取得意向も、仕事が左右 ～

Q5. 今年6月30日の改正育児・介護休業法施行で、あなたの勤務先では今よりも育児に時間を取れるようになると思いますか。



育児・介護休業法改正によって今後取得意向を示したのは父親全体の45%で、取得したくないと考えている人は9%程度でした。また、20代の若い父親が強い取得意向を示していることがわかります。なお、取得意向を示さなかった人の理由は「仕事」で、実際に取得が促進されるかどうかは職場の雰囲気と繁忙状況がネックとなり、上司や同僚の理解と協力も必要といえます。

ボーネルンドは、父親の育児を支援する育児・介護休業法改正に向け、「こどもの日」を含むGW中の5月1日(土)から5日(水)まで、当社が展開する全国のインドアプレイグラウンド「KID-O-KID」(キドキド)にお子さんと一緒に来場した場合、父親の施設利用料(通常1人300円)を無料とする企画を実施します。
※詳細をご希望の報道関係者様は、下記までご連絡ください。

ボーネルンドは、“あそびの道具と環境”を提供することを通じて子どもの健全な成長に寄与するため、1981年に設立。一般家庭向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国約80カ所で直営店舗を運営しています。また、同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万カ所まで拡大しています。

《報道関係の方のお問い合わせ先》	
株式会社ボーネルンド 広報 担当：村上 TEL：03-5785-0860 E-mail：y-murakami@bornelund.co.jp	株式会社プラップジャパン 担当：内藤、伊藤、山口 TEL：03-3486-6868 E-mail：bornelund@ml.prap.co.jp
《一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)》	
株式会社ボーネルンド	TEL：0120-358-518